

【これからどうする 8 回生】

コロナの収まり具合を見て、3年ぶりに8回生各クラスの幹事を集め、5/28 多治見駅北の南国酒家にて学年全体の同窓会の在り方を検討しました。

平成14年に第1回同窓会を開催し、20年、24年、28年、そして32年に5回目の学年同窓会に向け準備をして、会場も予約を済ませた頃悔しくもコロナにて前途を閉ざされました。ここまで来たのに中止にせざるを得ないのかと、会場のホテルに中止を伝えた所、キャンセル料の請求があり、何度も話し合いをしました。

やっとキャンセル料も無しとなり、コロナの終息待ちをされていて、今回の打ち合わせです。待つこと3年、集まった幹事からは中止した時の思いもあり、インフルエンザ、そして5類になったとはいえコロナの影響の大きさに、幹事への負担の多大さを考えると、クラスを超えたところで集まりたい、会いたい、話したい。。。の思いを考えると、結果として

- ① 学年全体での企画はしない
- ② クラス毎での企画に任せ、オープン参加スタイルで対応していく
企画したクラスは他クラスの幹事にその連絡をして情報を広げる
参加者はオープンに友人を誘って参加できることとしていく
- ③ 各クラスの幹事を集める幹事会を年に1回くらい開催していく
情報の交換と現実化、そして交流を深める

今回の幹事会後の繰越金、110,587円については多治見北高校同窓会へ全額寄付します。

2023年5月28日 8回生同窓会
寄稿：学年幹事 伊藤利道

